

タイトル	「私」は「宗教」を信じているのか？		
所属	南山大学人文学部人類文化学科 藤川ゼミ	氏名	平下歌菜歩

問いの出発点

- 「私は無宗教である」と感じている自分
 - ↓
 - 特定の宗教を信じている人々は世界中にいるし、身の回りにもいる
 - 宗教によって得られるものがある(そして私はそれを得ていない)？
 - 宗教的なものを行う自分
 - Ex.) 冠婚葬祭、初詣
 - いちばん単純な、「願う」「念じる」「祈る」という行為が示すもの
 - ↓
 - 「私」は本当に無宗教なのか？

問いの論点・疑問点 → 調査方法

- 「宗教」の定義とはなにか？
- ただ「祈る」ことはすでに宗教なのか
 - コンクールの結果発表で手を合わせる
 - 子どもの成長を願う「背守り」
 - 魔除けとして身につける「裏千支」
- 宗教は誰のものなのか
 - つらいときに縫る庶民
 - 宗教を統治につかう権力者

- <文献調査>
 - 宗教原理についてのより深い知識を得る
 - 多神教／一神教 etc.
- <フィールドワーク>
 - 「ミサ」「お勤め」に参加する人々は、どのような背景を持っているか？ 何を行っているか？

- 日本で宗教はどのように扱われてきたか？
- 国教である「神道」
- 外来宗教の受容
 - 言語的観点：
 - 仏教の経典に入り交じる多言語
 - ミサに残る「ハレルヤ」「ホザンナ」
 - 歴史的過程：
 - キリシタン大名の誕生、バテレン追放令
 - など、受容と排斥を繰り返す？
- 「新興宗教」の勃興

- <文献調査>
 - 日本における各種宗教の歴史をさぐる
 - 訳語の変遷とその背景
 - 仮説：原文を使うことに神聖性がある？
 - 新興宗教については、その歴史とともに、メディアにおける扱われ方についても着目する

- 「宗教」がマイナスイメージをもつ？
- 現代日本で、「宗教」という言葉が持つニュアンス
 - 「宗教みたい」という言葉
 - 「野外宗教劇」が敬遠されるワケ
 - 歴史的には？ 他の国ではどうか？

- <アンケート>
 - 「宗教」という言葉に対して抱くイメージはプラス or マイナス？
 - 「宗教」「布教」「狂信」など、宗教にちなんだ言葉をいつ／どこで使うか？